児童発達支援センター たすかる早崎

●児童発達支援　療育
就学前の児童を対象として、集団療育を行います。日常生活における基本動作や知識技術を習得し、集団生活に適応できるよう支援します。

●放課後等デイサービス　療育
6歳から１１歳までの児童を対象として、集団療育を行います。子どもたちの発達課題に合わせてプログラムを組み、段階を踏みながら成長へと導きます。

●放課後等デイサービス　学童
6歳から18歳の児童を対象として、放課後や夏休み等長期休業日にさまざまな体験や社会との交流促進等を継続的に提供します。

●相談支援事業
保護者の相談に応じ助言や連絡調整などの支援を行うほか、サービスの利用計画の作成を行います。

●保育所等訪問支援
対象児が集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行います。

“こまったくん“は、

おとなにとっては
「困った行動」

たとえばこんなこと…

❍何度言っても同じことを繰り返す
❍いつまでも遊びがやめられない
❍片付けや着替えがなかなか進まない
❍落ち着きがない
❍順番を待てない、一番にこだわる
❍ことばのキャッチボールがうまくいかない
❍不器用
❍いつのまにかいなくなっている

など

”こまっている子“

こどもにとっては
「どうしたらいいか困っている行動」

原因として考えられること

❍気持ちの切り替えやコントロールが難しい
❍気が散りやすい
❍目に付いたものに気を取られる
❍人との関わり方がわからない
❍「ことばではなす」「聞いてわかる」が苦手
❍身体のイメージができていない
❍感覚の敏感さ、感じにくさがある
❍注目されたい

など

療育とは、
発達に偏りのある乳幼児、児童に対して
ていねいな関わりや個別支援を行うことです。

運動機能や認知・行動面の成長を促し、
自己肯定感を高めます。

たすかる早崎では…

★人との関わりをていねいに教える
・関わり方や人の気持ち、ルールを
具体的に伝えるようにします。

★コミュニケーションの力を育てる
・遊びの中で色々な体験を通し他者と
関わる力を育てます。

『子どもは遊びを通して発達していきます。』
子どもにとって、遊びとは、目的を持ってするものではなく、ただ楽しいからするもの。そんな遊びの中で、子どもたちは心身を発達させていくのです。

★身体をたくさん使ってあそぶ
・身体の育ちを促します。
・ふれあい遊びを通して情緒の
安定をはかります。

★楽しい経験をたくさん積む★

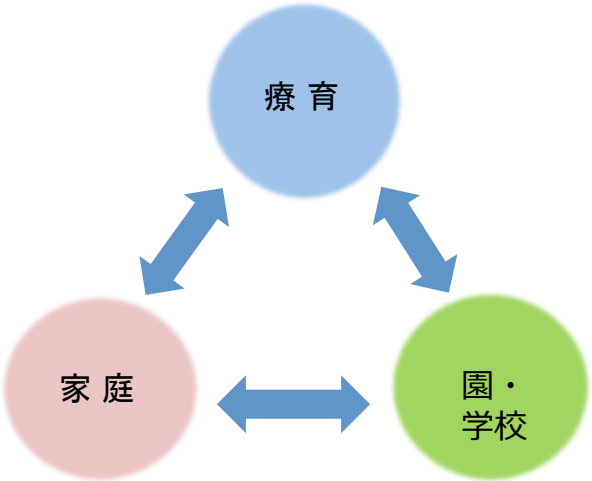
幼少期の良い経験は人生を左右します

保護者の方は…

子どもへの関わりを学ぶ場です！

◆保護者が、子どもの特性を理解する場
◆保護者が、適切な対応・環境設定を学ぶ場
◆子どもが持っている能力を活かして、
　よりよく生活していくために必要な対応を 保護者が学ぶ場
◆子どもの得意分野を見つけ、伸ばす働きかけを 保護者が学ぶ場

☆療育の場で、スタッフがお子さんに どのように接しているのかを観察して、
　家でも同じようにやってみる という継続の中で お子さんの成長を促します。



“療育でできるようになる”が目的ではありません。
療育でできた事を、家庭、園 ・ 学校で活かせることが目的です！！
三者が連携をとり、同じ対応 ・ 支援を行うことで、子どもによりよい環境を提供できます。 こういった対応が子どもの成長を促します。

“好ましくない行動→怒る” の繰り返しでは、何の解決にもなりません。
療育の場面において、お子さんがどのような事が得意で、どのような事が苦手なのかを知りましょう。そしてお子さんの、得意な事・特性を生かしてどのように働きかけると理解しやすいのかを私たちと一緒に考えていきましょう！！
保護者の方の対応が変わることで、お子さんも変わっていくのです。

年少・年中・年長グループ

★わんぱくルーム★

◆刺激の受け入れを良くし、感覚面を育てます。
◆筋力やバランスを高めるなど身体を作り、運動面全体を伸ばしボディーイメージを高めます。
◆他者と身体を使って楽しく遊び、対人関係やコミュニケーション能力を高めます。

★サーキット★

◆はしご渡りなど、決められたコース
にチャレンジします。
◆身体イメージや身体の操作性、バランス感覚など、基本的な運動能力を伸ばします。
◆成功体験を積み、自己肯定感を高めます。

✽年少児・年中児 課題

★なかよしルーム★

リトミック

・音楽に合わせて活動することで他者と楽しさを共有する。
・気持ちを切り替えるきっかけとする。
・親子の愛着関係を深める。

あいさつ

・着席のきっかけとする。
・活動が始まることへの意識付け。
・自分の名前を意識する。

ふれあいあそび
親子リトミック

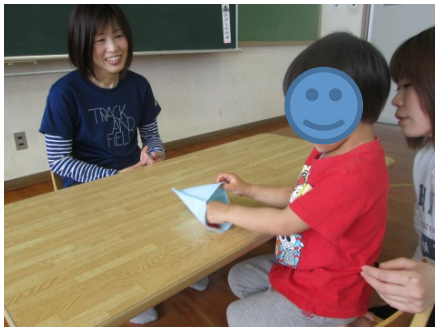
・親子で一緒に体を使った遊びを行う。
・親子の愛着関係を深める。
・音楽に合わせて活動することで他者と楽しさを共有する。
・「他人」を意識しコミュニケーション能力の基礎を育てる。

マッサージ

・家族など身近な人から快刺激を受け入れることで安心して「人」を受け入れることができるようになる。
・低刺激を受け入れることで情緒を安定させる。
・「他人」を意識しコミュニケーション能力の基礎を育てる。

おやつ

・自分の気持ちが伝わる経験をする。
・伝えたいという意欲を高める。
・着席のきっかけをつくる。
・色々な袋や容器などを使う経験をする。
・自発的な要求の言葉を促す。



ふうせん

・色の認知や物をイメージする力を育てる。
・語彙を増やす。
・認知面を育てる。

おえかき、制作
シール貼り　など

・認知面を育てる。
・手先の操作性を高める。
・「見る」機能を高める。
・道具やことばなどのやり取りができる。

かんしょくあそび

・色々な感触を経験する。
・手指の操作性を高める。
・認知面を育てる。

絵本

・絵を集中して見る力をつける。
・話ことばに注意を向けて聞く力をつける。

ほめほめタイム

・子どもの自己肯定感を高める。
・保護者の方に良いところを見つけてもらう。

かえりのあいさつ

・終わりを意識する。

・フィードバック、保護者との連絡、情報交換を行う。

✽年長児 課題

★なかよしルーム

あいさつ

・着席のきっかけとする。
・活動が始まることへの意識付けをする。
・自分の名前を意識する。

ゲーム

・簡単なルールを理解し、活動を楽しむ。
・勝ち負けの受け入れや気持ちの共有などができるようになる。

あいうえおのうた

・ことばや文字への興味を広げる。
・文字やヒントからことばを想起する。

プリント

・目と手の協調を伸ばす。
・運筆力を伸ばす。
・数や物の概念を育てる。
・道具やことばなどのやり取りができる。
・他者に援助を求められる。

せいさく

・見本を見て制作ができる。
・手先の巧緻性をのばす。
・道具の用途を学び操作できるようになる。
・作り上げることで達成感を感じる。
・道具やことばなどのやり取りができる。
・他者に援助を求められる。

ほめほめタイム

・子どもの自己肯定感を高める。
・保護者の方に良いところを見つけてもらう。

かえりのあいさつ

・終わりを意識する。

・フィードバック、保護者との連絡、情報交換を行う。

✽学齢児 課題

感覚運動遊び

■自分の求める感覚を取り入れ、情緒の安定をはかります。
■遊びを展開していくなかでイメージする力を育てます。
■ルールを守って他者と楽しむ経験をします。

サーキット

■はしご渡りなど、決められたコースにチャレンジします。
■身体イメージや身体の操作性、バランス感覚など、基本的な運動能力を伸ばします。
■成功体験を積み、自己肯定感を高めます。

あいさつ・呼名
インタビュー
カレンダーワーク

■集団活動が始まることへの意識付けをします。
■グループのメンバーや日付を意識します。
■ 自分の気持ちを言葉で表す経験をします。

ＳＳＴ

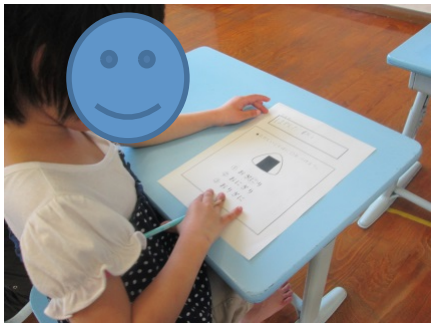
■ソーシャルスキルを学び、対人関係や集団活動をスムーズにおくれるようにします。
■自分の気持ちや相手の気持ちを考える経験をします。
■自分の考えと他者の考えが違うことに気づき、お互いに譲り合う経験をします。

ゲーム

■ルールを理解し守ることを身に付けます。
■他者と楽しみを共有します。
■SSTで学んだことを実践に活かせるよう、チームやペアで協力する課題を取り入れていきます。

プリント課題

■ビジョントレーニングや、読み書き、数の概念などのプリント課題を行います。
■運筆力を高めます。



制作

■手先の巧緻性を高めたり、両手を協調して使う経験をします。
■作り上げることで達成感を感じます。
■必要に応じて援助を求めたり質問するスキルを身につけます。

ふりかえり

■その日の活動を振り返り、自分の気持ちを言葉で表現する経験をします。

ほめほめタイム

■保護者の方にお子さんの良かったところを褒めていただきます。
■お子さんの自己肯定感を高めます。

かえりのあいさつ

■活動の終わりを意識します。

保護者の方へフィードバック

■スタッフから…
今日の療育での様子、よかったこと、少し難しかったことなど
■保護者の方から…
ご家庭・園・学校での嬉しかったこと、困ったこと、気になっていることなど
なんでもお話しください。
■その他、保護者さん向けの勉強会も実施予定です。